

発 言 通 告 書

令和 8 年 9 月 9 日

松山市議会議員 大 塚 啓 史 殿

松山市議会議員 武 田 陽 介

次のとおり通告します。

発言順位	9	受領日時	9 月 9 日 午前・午後	1 時 30 分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 20 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	観光客の市内回遊と地域経済の活性化について	(1)観光客が市内のどの地域を訪れ、どの程度の時間を滞在し、どのような店舗や施設を利用しているのかなど、観光客の動向について、どのように把握しているのか。 (2)デジタルマップや SNS の活用、また飲食事業者や関係団体等との連携により、松山で食べる、歩く、楽しむという回遊型の観光を促すため、観光客を市内各地域の店舗や観光スポットへ誘導する取組をさらに強化してはどうかと考えるが、市長の所見を問う。
2	デジタル格差の解消について	(1)デジタル機器の操作等の支援について ①行政サービスのデジタル化が進む中、スマートフォンの操作を苦手とするなど困っている市民の方に対して、どのような支援を行っているのか。 ②公民館など、市民がふだんから利用している身近な場所を活用してスマートフォンの使い方や行政サービスの利用方法などを気軽に相談できる場を設けてはどうかと考えるが、本市の見解を問う。 (2)デジタルと紙、オンラインと対面、それぞれのよさを組み合わせ、誰一人取り残さない行政サービスの提供を行うことが重要だと考えるが、今後、本市として、デジタル化と対面による行政手続をどのように両立させていくのか、市長の所見を問う。
3	空き家の活用による地域活性化について	(1)本市における空き家の状況と空き家対策の内容を問う。 (2)空き家の所有者と空き家を活用したい事業者や個人を積極的にマッチングする取組をさらに充実させる考えはないか。 また、地域ごとの空き家の状況を把握し、民間事業者や地域団体とも連携しながら、空き家を地域活性化などにつなげる取組を進めてはどうかと考えるが、本市の見解を問う。